

Vol. 144 民間委託の足立東和町と逸品運動の 稲毛せんげん商店街視察報告（平成 20 年 9 月 25 日）

今回の大規模小売店舗出店対策委員会の視察は、商店街活性化事業の一環として、最初の足立東和銀座商店街は商圈およそ3万人の町で活性化事業として、民間委託事業で成果をおさめており、早くからマスクミに取り上げられている町であります。

商店会64店中、41名の出資で株式会社を発足させ、都立病院の売店、レストランの経営、足立区内の学校給食事業を受託、高齢者対策として、弁当惣菜の宅配事業、大手スーパー等の清掃業務等を行い、従業員はおよそ200名でありました。

奥さんが商店街を守り、ご主人達は株式会社に参画するという働き場所を作っており、雇用の増加と利益追求よりも地域への高齢サービス、福祉、介護、治安、住民のコミュニケーション作りを貢献する大きな役割をされておられました。

これから望まれるコンパクトなまちづくりのモデルであります。

私の会社が属する外食業界では、病院、学校、高齢者施設の給食受託事業はめざましい発展をいたしております。

ぜひ君津でも実現させたいと願い、会員の方達にも新分野事業として興味を持っていただきたいと思っております。

稲毛せんげん通り商店街は、千葉大の学生達と活性化運動を始め、「これこそ我が店自慢の商品」に取り組み、東京テレビ「ガイアの夜明け」日テレ「ぶらり途中下車の旅」でも紹介されて評判になった商店街であります。

また、昔はこの商店街は国道を挟んで稲毛海岸に接しており、大正、昭和初期は海水浴避暑地として栄えておりました。

夜の海には春から秋にかけて夜灯（よとぼし）で干潟の魚を確保する漁がありました。

昔の海の風習を現代に伝え残そうと灯籠による「稲毛あかりプロジェクト」が進められていました。

一昨年訪れた城崎温泉では、歩道に足元を照らす灯籠が置かれており、頭上の街灯より中々風情有りました。

この稲毛せんげん通りで感じたことは商店主達がこれらの運動を通して、横のつながりが強くなり、新しい生き残りへの自信を持ち始めたことであります。

この商店街の一角に稲毛浅間神社があります。

かつて富士山が活火山だった頃は東京湾を隔て、赤々と火が見えたと伝えられ、私を知る40年くらい前には全くひなびた神社であります。現宮内宮司が再建され、今や香取、鹿島神社をしのぐすばらしい神社となり、年間およそ百万人の年賀、参拝者を数える神社となりました。

私達が参拝するとの連絡をしましたら、国道から辻が辻、参道へ至るまで神職達が出迎え参殿を許可され歓迎をいただきました。

神社もまた参拝者に対してこれまで配慮されて百万人の参拝者を築かれたのかと深く感銘させられました。

参考まで千葉県観光はオリエンタルランドを除くと、成田山1千万人、中山法華寺3百万人、香取神宮2百万人、宗吾堂千葉神社百万人、誕生寺90万人、銚子満願寺80万人と神社仏閣が多いことが特長です。